

西合志図書館天文台 中秋の名月特別観望会

【日程】令和4年9月10日(土)

【時間】午後7時～午後9時30分

受付時間 ①午後7時～7時15分 ②午後7時30分～7時45分

※密をさけるために受付時間をずらしています。

【場所】西合志図書館天文台

毎月第2・第4土曜日に開放している、[西合志図書館天文台](#)。
1年のうち特別な夜は特別観望会を開催しています。

今回は中秋の名月特別観望会を開催します。
美しい名月(十五夜)と秋の星空を天文台から眺めてみませんか？

対象:どなたでも参加できます (先着30名)

※事前申し込みが必要です(8月13日(土)より受付開始)

※雨天・曇天、または状況により中止する場合があります。
感染症予防対策として、マスクの着用・アルコール消毒・検温にご協力下さい。

・中秋の名月って???

「中秋」は旧暦の秋(7,8,9月)の真ん中、8月15日を意味します。現代の暦では大体9月中旬から10月初旬がその時期になります。旧暦では月の満ち欠け周期の約半分にあたる15日が満月になると考えられていました。そこで、「名月」と「満月」という言葉を合わせて「中秋の名月」=「旧暦8月15日の夜の満月」と言われるようになったのです。

「中秋の名月」といえば「お月見」という習慣がありますが、当初は庶民に全く習慣がなく貴族たちが「月」を眺めながら宴を楽しむ、観賞するという意味合いが強かったようです。

現在のように一般的になったのは江戸時代ですが、それでも江戸時代前期はお供えをする習慣はまだなく収穫した芋煮を食べながらお月見をしていたようです。後期になると収穫に感謝して、お供えをしてお月見をするようになっていったと考えられています。
昔は月の満ち欠けによって農作業を行っていました。月に対する感謝の表れが慣習の変化につながったのかもれません。